

生駒南義務教育学校(仮称) 設計ワークショップ

共創スタジオだより 4 —みんなで描こう、未来の学校— vol.4

発行：2025年12月（第4号）
問合せ：生駒市 教育政策室
TEL 0743-74-1111（内線 2721）
主催者：生駒市 教育委員会
株式会社 類設計室

幼稚園教諭・保育士を対象に共創スタジオを開催しました！

未就学児が小学校進学時に直面する「小1ギャップ」の解消を目的として、保幼小連携の強化を図るため、南こども園の幼稚園教諭・保育士を対象に共創スタジオを開催しました。和やかな雰囲気の中で、日々子どもたちと向き合う現場の視点から、未就学児が日常的に安心して利用できる環境づくりや関わり方について意見を交わすとともに、小学校進学に向けて子どもたちが不安なく次のステージへ移行できるような仕組みや工夫について、具体的なアイディアを出し合う場となりました。

【開催概要】開催日時：10月29日(水) 13:10～14:10 開催場所：南こども園 参加人数：16名

生駒南義務教育学校(仮称)の設計は、「第3次生駒市教育大綱」に基づき、事業基本構想、事業基本計画を策定しています。本事業は、『すべての人にとっての学びと交流の拠点』を目指し、より優れた施設の機能・空間を設計していきます。

共創スタジオとは？

共創スタジオとは、みなさんと一緒に未来の学校を考えるためのワークショップです。子どもから大人まで、一緒にアイディアや提案を出し合いながら、未来の学校をつくっていきます。

ワーク① 園児が、わくわく・安心して活動できる空間を考えよう

○ 多様な遊びと体験の場

- ・ 幼児用遊具スペース拡張／トランポリン
- ・ 寝転ぶ芝生／水遊び場／季節を感じる植栽

○ 読書・絵本環境の整備

- ・ 年齢に応じた絵本のエリア分け
- ・ 小学生と園児が一緒に読書できる場

○ 地域・異年齢交流の促進

- ・ 園児と小学生が自然に一緒に遊べる場
- ・ 地域住民も利用できるカフェ・食堂機能

ワーク② 年長さんがわくわく・安心して1年生になれる架け橋を考えよう

○ 小学生との交流

- ・ 一緒に調理・食事／季節の遊びや行事
- ・ 小学生と作品を共同制作・展示

○ 小学校生活の事前体験

- ・ 黒板や机のあるスペースで学校ごっこ
- ・ 入学前に図書室を利用／音楽会を見学

○ 年度をまたいだ継続的な体験

- ・ 年長で植えたものを、1年生で収穫

○ 落ち着ける空間・静かな活動の場

- ・ 隠れ家のような落ち着ける小さな空間
- ・ カーテンで仕切れる程よく囲まれた空間

○ 安全な環境・設備

- ・ 屋外の子ども用トイレ(広場・遊具付近)
／手洗い場
- ・ 保護者が目を離しても安全な遊具
- ・ グラウンドの日差し対策
- ・ 図書スペースの転落防止構造



インクルーシブの視点で、専門家にアドバイスをいただきました！

【下倉玲子先生(島工業高等専門学校 インクルーシブの研究)】(12/2実施)

○ 特別支援教室・通級指導教室

- ・ 普通学級の子どもと共に学べる環境整備
がインクルーシブの考え方
- ・ 不安な気持ちが現れた時に、安心できる居場所を普通教室から離れすぎない位置に段階的に用意(遊び場を選べるグレーデーション)
- ・ 通級指導教室、特別支援学級など特別支援にあたる教職員が連携できる配慮が必要

○ 特別教室

- ・ 中学生以降を見据え、実験の計画・実施・まとめまでを生徒自身が行う学びを想定
- ・ 特別教室の脇に計画や振り返りができる場を設け、実験・演習作業とデスクワークを行き来できる構成が望ましい

【スクールカウンセラー】(12/2実施)

○ プレイルーム

- ・ プレイセラピーの有無を検討したい
- ・ 広さは、2教室分ほどで十分確保できる
- ・ 常時開放されていて、セラピーのタイミングで閉じて使用できるとよい

○ 相談室

- ・ 保健室とスペシャルサポートルーム(以下、SSR)との連携が多いため、近接させたい
- ・ 設えは、SSRと同じようにしたい

○ その他

- ・ 通級指導・特別支援教室は普通教室の近く
- ・ 校内カフェでお手伝い(教室に行きづらい子どもの居場所になる)
- ・ スクールカウンセラーのカウンセリングは別室が必要

【ソーシャルワーカー】(12/5実施)

○ スペシャルサポートルーム(SSR)

- ・ こどもたちの居場所となるように常設
- ・ 孤立した部屋にならない工夫が必要(普通教室から半歩下がる配置イメージ)
- ・ 全く人目に合わないのでよろしくない
- ・ 植物や明かりで気持ちの良い広い空間
- ・ SSR使用者のクールダウンやテスト期間の勉強で使えるように相談室と隣接
- ・ 有事の際、職員室や保健室とすぐに連携が取れる配置

○ 校内カフェ

- ・ 家庭や教室に居づらい子どもの居場所
- ・ 外部委託が多いので、どこに委託するかも重要→有資格者(ソーシャルワーカー等)を入れたい

学校安全の視点で、警察OBの方にアドバイスをいただきました！(12/5実施)

○ 出入口

- ・ 指紋や暗証番号を利用したセキュリティ
- ・ 地域の出入りは顔認証やIDカードで管理

○ 不審者侵入時の対策

- ・ 子どもの安全のために、逃げる以外に教室にこもれるようにすることも大事
- ・ 不審者の行方がわかるようにすることも重要

○ 防犯カメラ

- ・ 職員室で入りの確認ができるようにしたい
- ・ 放送室から校内目視と映像確認を可能に

○ その他

- ・ フェンスの高さは2mあるとよい
- ・ 教室内から前後の鍵をかけられるように
- ・ 火災時などにテラスからの避難は有効



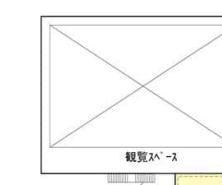
生駒南義務教育学校(仮称) 設計ワークショップ

検討中のイメージをお届け！



プロポーザル資料から
抜粋しているイメージであり、
今後変更する可能性があります。

3F



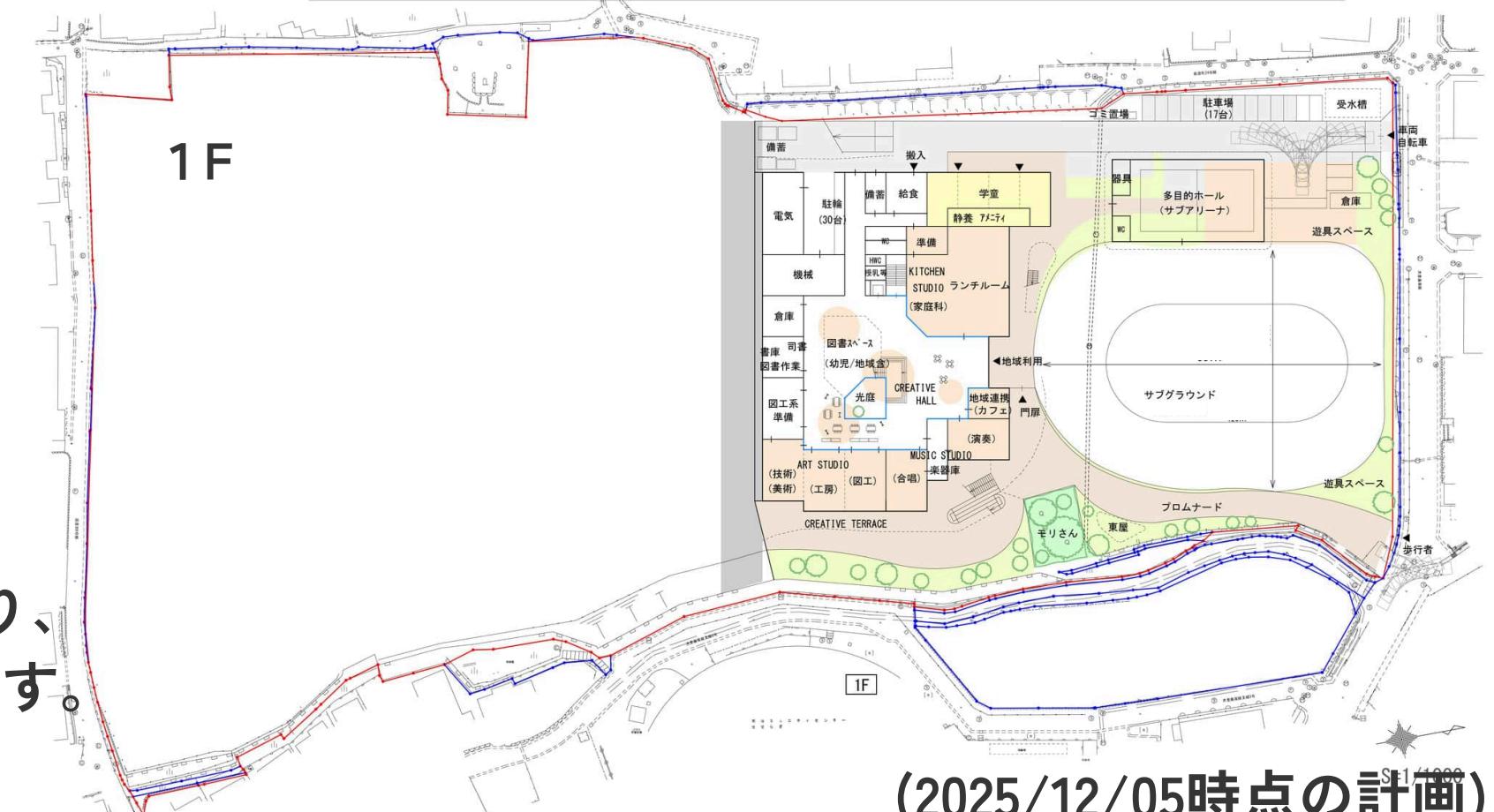
ティーチャーステーション(TS)の分散配置でSSR・保健室との連携強化

プレイルームは、
・通級指導・特別支援教室から使いやすい配置
・未使用時の開放も検討

放送室は校内を目視できるガラス窓を検討



2F



(2025/12/05時点の計画)

